

未来へ夢を育む学校



学校だより

(題字 学校長)

5月号 学校長 望月 重晴



子どもがもっている力

副校長 小野 雅美

今年度、白幡小学校に着任しました副校長の小野雅美と申します。地域やPTAの力強いサポートのもと子どもたちの成長を見守ることができる、歴史あるこの白幡小学校に着任することができ、とても嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

白幡小学校の正門を入れてすぐに目に飛び込む大きな桜の木の美しさに感動した4月の初めから、早いもので1か月が経とうとしています。子どもたちにとっては、新しい友達との出会いがあり、新しい教室での生活が始まり、環境が大きく変化した1か月となったと思います。期待や希望に胸を膨らませていたと同時に不安もあったのではないのでしょうか。焦らずに、自分のもっている力でゆっくりと成長して行ってほしいと願っています。支えてくださっている保護者の皆様のご理解やご協力に心より感謝いたします。



【1年生を迎える会】

17日(月)には、1年生を迎える会がありました。2年生以上の児童からは、1年生に白幡小学校のクイズが出題されたり、メダルのプレゼントがあったりと、とても温かい和やかな雰囲気となりました。5年前には迎えられている側だった6年生が立派に最高学年として会を進行している姿に、子どもたちの力強い成長を感じました。

子どもの成長と言えば、以前、保護者の方から「小学校に上がると子どもの様子が分からなくなる。」という言葉をお聞きしたことがあります。子どもは成長とともに興味の幅が広がり、友達も増え、行動範囲も広がり、少しずつ自分の世界をもつようになってきます。これまでは、保護者の方が把握している中で活動していることが多かったお子さんが、これからは少しずつ後ろから見守るような子育てに変わっていきます。とは言いながらも、私自身も心配になり、つい我が子に対して先回りをして準備をしたり、子どもが考える前に口を出したりしてしまうことが今でもあり、日々反省をしながら過ごしています。子どものもっている力を信じて見守るとするのは、とても勇気と忍耐が必要なことです。時には子ども自身で痛いと感じることも必要です。自分で痛みを知ると、次は失敗しないように自分で考える力が付きます。そのように少しずつ力を付けていき、今では毎朝1年生のサポートをする6年生のような力がついてくるのだと思います。どの場面で見守り、どの場面で手を差し伸べるのか判断が難しいことも増えてくると思います。そんな時はぜひ、学校に相談をしていただければと思います。子どもたちの力を信じ、その力を伸ばしていくような支援を保護者の皆様と地域の皆様と教職員とで一緒に考えていきたいと思っています。

学校の教育活動の様子については、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirahata/> スマホ等はこちらから→

